



三重大学 (三重県)



将来、日本や日本語に関係する研究や仕事を目指し、
国際的に活躍する人を育てるためのコースです。

■大学紹介

①大学の特色及び概要

◆三重大学は総合大学で、人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部があります。また、大学院は地域イノベーション学研究科を加えた6研究科があり、キャンパスは津市にあります。自然環境に恵まれ、キャンパスのすぐ東側には海岸の波が打ち寄せ、北西には鈴鹿の山が連なります。

◆学生数・教員数：

学部学生数：6,055名

大学院生数：1,138名

教員数：792名

外国人留学生数：298名（35カ国）

<2018年5月1日現在>

◆環境先進大学：

本学は国際規格である ISO 14001 の認証を受けて様々な環境・マネジメントシステムを構築しています。

②国際交流の実績

◆三重大学は、外国の119大学・機関と、大学間または学部間の学術交流協定を結んでいます。これらの大学とは、教員・学生の交流、学術情報の交換などを行っています。

<2018年5月1日現在>

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研究生）の受入れ実績

	留学生	日研究生
2016年度	313名	4名
2017年度	316名	4名
2018年度	298名	4名



伊勢神宮 内宮



鈴鹿サーキット



伊賀上野城



三重大学国際交流センター

④地域の特徴

◆津市は、三重県の県庁所在地です。人口は約28万人、温暖な気候で暮らしやすいところです。交通も便利で、大阪へのアクセスは約1時間半、京都へは約2時間、東京へも約3時間です。

◆三重県は、歴史や文学・国学の豊かなところです。すでに8世紀には『万葉集』の詩歌にうたわれ、多くの小説の舞台となってきました。三島由紀夫が小説『潮騒』に描いた神島も、ここ三重県にあります。俳句を詠んだ松尾芭蕉は現在の三重県の地に生まれ、「文学の神様」と呼ばれる横光利一も中学時代を三重県で過ごしました。

◆県内には多くの史跡や名勝があり、観光客もたくさん訪れます。伊勢神宮を中心とした歴史的建造物、古い宿場町や歴史街道も残っています。また、熊野古道は、2004年7月に世界遺産に登録されました。

◆県内にある鈴鹿サーキットは、「日本のモータースポーツの聖地」と言われてきました。F1日本グランプリが開かれることにより、世界各国から多くのファンが集まります。

◆三重大学国際交流センターは、三重大学における国際交流の要として、本学の国際的な教育研究の充実、および地域の国際化に寄与することを目的とし、様々な国際的な活動の企画・推進を行っています。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行います。

② コースの特色

- 将来、日本や日本語に関係する研究や仕事を目指している人のためのコースです。
- 自分のレベルに合わせて、中級後半から上級レベルの日本語を集中的に学習します。
- それぞれの指導教員の下、各自が設定したテーマや、基礎的な研究や報告書の書き方について学ぶことができます。
- 地域住民および三重大学生、在日外国人・留学生との相互交流を通して、日本文化や異文化への理解を深めることができます。

③ 受入定員

5名（大使館推薦1名、大学推薦4名）

④ 受講希望者の資格、条件等

次の(1)と(2)の両方の条件を満たすこと。

- (1) 本国の4年制大学において、日本語・日本語教育・日本文化関係を専攻している人（2年生以上）。
- (2) 日本語能力試験N2以上か、それに相当する日本語力がある人（語彙を約4,000～6,000語、漢字を約600～800字以上、既に習得している人）。

⑤ 達成目標

日本語・日本文化研究を通して、母国と日本のかけはしとなる学生の育成。

⑥ 研修期間

2019年10月1日～2020年8月31日
修了式は8月31日までに開催予定

⑦ 研修科目の概要・特色

コースに入りしだい、日本語レベル判定試験を受けます。その結果により中級Ⅱレベルと上級レベルにわかれます。

1) 必修科目

◆中級Ⅱ

授業名 (90分×16回)	主な目標
文法・読解	中・上級レベルの表現文型を体系的に学び、運用する力を身につける。
読解・作文	大学の専門分野の学習への橋渡しとして、高度な文章を総合的に読解できる力をつける。
聴解・会話	映画・アニメーション・ドラマ等の視聴を通して、生の日本語を聞き取り、意見交換を通して聴解・会話力を高める。
日本語・日本文化演習	自分の専門分野に関する研究を進め、研究レポートを書くための指導を受ける。
日本事情Ⅰ (三重の社会と文化)	日本と三重県の社会文化環境を学外研修などを通して理解し、楽しむ。

◆上級

授業名 (90分×16回)	主な目標
上級総合日本語Ⅰ	論文の読解を通して学術的な文章の基礎を学ぶ。また、実際の調査活動を通して小論文の作成方法を学ぶ。
上級総合日本語Ⅱ	三重大学生とのディスカッションを通して、日本社会・文化への理解を深めたり、自分の意見を発表したりする。
日本語・日本文化演習	自分の専門分野に関する研究を進め、研究レポートをまとめるための指導を受ける。
日本事情Ⅰ (三重の社会と文化)	日本と三重県の社会文化環境を学外研修などを通して理解し、楽しむ。

*上級レベルの人は中級Ⅱの授業科目を、中級Ⅱレベルの人は中級Ⅰの授業科目を選択して受講することもできます。
合計7科目を履修します。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

「日本事情Ⅰ：三重の社会と文化」（必修）では、三重県内の農園公園（モクモクファーム）や寺社等について調べ、実際にバスで訪問して地域の社会や文化、産業について学びます。

3) 修了研究の内容

日本語や日本文化、または三重県に関するテーマを決めて、担当教員の指導のもと研究を進めます。

2月初旬：中間発表会 7月中旬：最終発表会

8月末：研究レポート提出〆切

4) 日本人学生との共修の機会

国際交流センターが全学（教養教育院）に開放している科目では、すべて日本人学生と共に学ぶことができます。日本語による科目は以下の通りです。

●上級総合日本語Ⅱ（留学生と共に学ぶ日本）

●日本事情Ⅱ（メディアと日本）

5) その他の講義、選択科目等

●必修科目のほかに、以下のような選択科目があります：上級へのステップアップ・メディアと日本・英語等による国際教養科目（世界遺産と私たち・環境問題と地球・英語でエッセイ）

●上記の国際交流センターの科目のほかに、5学部の科目を選択し、受講することもできます。



研究発表会の模様（昨年度）

⑧ 年間行事

◆秋学期（後期）

- 9月下旬 渡日
オリエンテーション
クラス分けテスト
10月 ウェルカムパーティ
授業開始
11月 大学祭
12月 研修旅行
国際交流ディズ
2月 期末テスト
プロジェクト中間発表



◆春学期（前期）

- 4月 授業開始
7月 プロジェクトの最終発表
8月 盆踊り大会参加
プロジェクトのレポート提出
修了判定/修了式/帰国



⑨ 指導体制

- 福岡昌子教授（専門：音声・第二言語習得）
- 松岡知津子准教授（専門：文法）
- 栗田聡子准教授（専門：メディア心理学）
- 正路真一助教（専門：心理言語学）

⑩ コースの修了要件

日本語日本文化演習AB及び各レベルの必修科目及び選択科目から合計7コマ以上受講し、日本語による研究成果発表会を行います。成績判定は、教員による成績会議で総合的に判断されます。コース修了が認められた学生には、成績証明書を発行します。

■宿 舎

三重大大学には現在留学生用の宿舎が3つあり、「外国人留学生寄宿舍」は、留学生と日本人学生が部屋をシェアして共同生活し、異文化交流を通してグローバルな視点を持てる場となっています。

- ①外国人留学生会館（1988年建設）
月額 6,900円～14,000円
- ②外国人留学生寄宿舍（2009/15年建設）
月額 7,500円～30,000円
- ③国際女子学生寄宿舍（1973年建設）月額 5,900円



上（左）外国人留学生寄宿舍外観
（右）同 共用キッチン
下（左）同 シェアールームのダイニング
（右）国際女子学生寄宿舍居室

■修了生へのフォローアップ

修了生と在校生の交流を目的に、12月の国際交流ディズで交流パーティを開く予定をしています。

■その他の学習支援体制

- ①日本語チューター
三重大学生が留学生の日本語の向上や日本文化への理解を深める機会を与えます。日常生活のサポートもします。
- ②てらこやサークル
三重大学生による日本語学習のボランティアサークルです。一緒に会話の練習をしたり、日本語の宿題をみてもらうことができます。

■ホストファミリー・プログラム

希望する留学生は「セカンド・ホーム」というプログラムに登録し、週末や休日を一緒に楽しく過ごすためのホスト・ファミリーを持つことができます。約30年の歴史を持つ市民交流プログラムです。



三重大大学上浜キャンパス

シロモチくん
（津市PRキャラクター）

■問合せ先

<担当部署>
三重大大学学術情報部国際交流チーム

住所： 〒514-8507
三重県津市栗真町屋町1577

TEL： +81-59-231-9688（直通）
FAX： +81-59-231-5692
Email： ryugaku@ab.mie-u.ac.jp

<ウェブサイト>
三重大大学国際交流センター：
<http://www.mie-u.ac.jp/international/index.html>
三重大大学：
<http://www.mie-u.ac.jp/>